

8月8日(水) 医学部医学科進学支援・医大キャンパス訪問 自治医科大学を訪問しました (平成30年度 茨城県一人一人が輝く活力ある学校づくり推進事業)

本校、光プロジェクト・医学部医学科進学支援の一環として、医大キャンパス訪問を以下の要領で実施しました。昨年に引き続き自治医科大学を訪問しましたが、今年度は都立戸山高校、栃木県立栃木高校との合同実施となりました。1, 2年生の希望者7名が参加し、事後アンケート結果を見てもわかるとおり、実りある有意義な訪問でした。

福嶋先生による模擬講義では、医師という仕事や、がんの病理診断について具体的で興味深いお話を聞くことができました。自治医大生とのフリートーキングでは、本県出身の学生さん2名(3年生, 4年生)にご協力をいただき、高校時代の学習や、面接への心構え、自治医大での学習や生活から部活動、アルバイトにいたる様々な疑問に答えていただきました。はじめは固かった本校参加生徒も、お二人の気さくな人柄のおかげで、学食での昼食の間も含めて、和やかな雰囲気の中でいろいろな質問に答えていただいていた。午後は、シミュレーションセンターで、最新の機材を使って、採血や聴診、エコーや気管支鏡による検診など、なかなかできない体験をさせていただきました。

模擬講義

【内 容】

1 模擬講義

「医学部に入学するということ、医師になるということ」、
模擬講義「がんと病理診断」

自治医科大学医学部病理学教授

付属病院病理学診断科診療科長 福嶋 敬宜 先生



2 学生とのフリートーキング

フリートーキング

3 施設見学

シミュレーションセンターでの体験実習

※台風接近のため学生寮の見学等は割愛しました。



【実施後の生徒アンケート評価, 感想】

1 アンケート結果(今回の事業に関して)

・大いに役に立った 6名 ・役に立った 1名

2 参加した生徒の感想や意見(一部)

- 在学生の方との会話を通して、実習期間が長いところや全寮制のよいところを聞き魅力的な学校だと感じた。
- 学習環境が良く、最新技術を取り入れた授業を受けることができると感じた。
- OCに参加した上での訪問ということで、より自治医大についての理解を深めることができた。在学生の方と実際に話したことで受験・学習・日々の生活を見直して改善していきたいと思った。
- シミュレーターなどを使って普段では絶対にできない体験をすることができたり、医療についてより深く知ることができた。参加してよかった。
- 約50%の人がガンになると聞き、これを減らすために自分も何かしたいと思った。
- 勉強する上での考え方など、先輩方からとても新鮮でよい刺激を受けた。
- 医学について、具体的に知ることができた。フリートーキングがためになった。
- 先輩方と直接話ができて良かった。またこういう企画をやってほしい。
- この事業を続けて欲しい。来年も参加したい。

昼食



シミュレーションセンターでの体験実習

